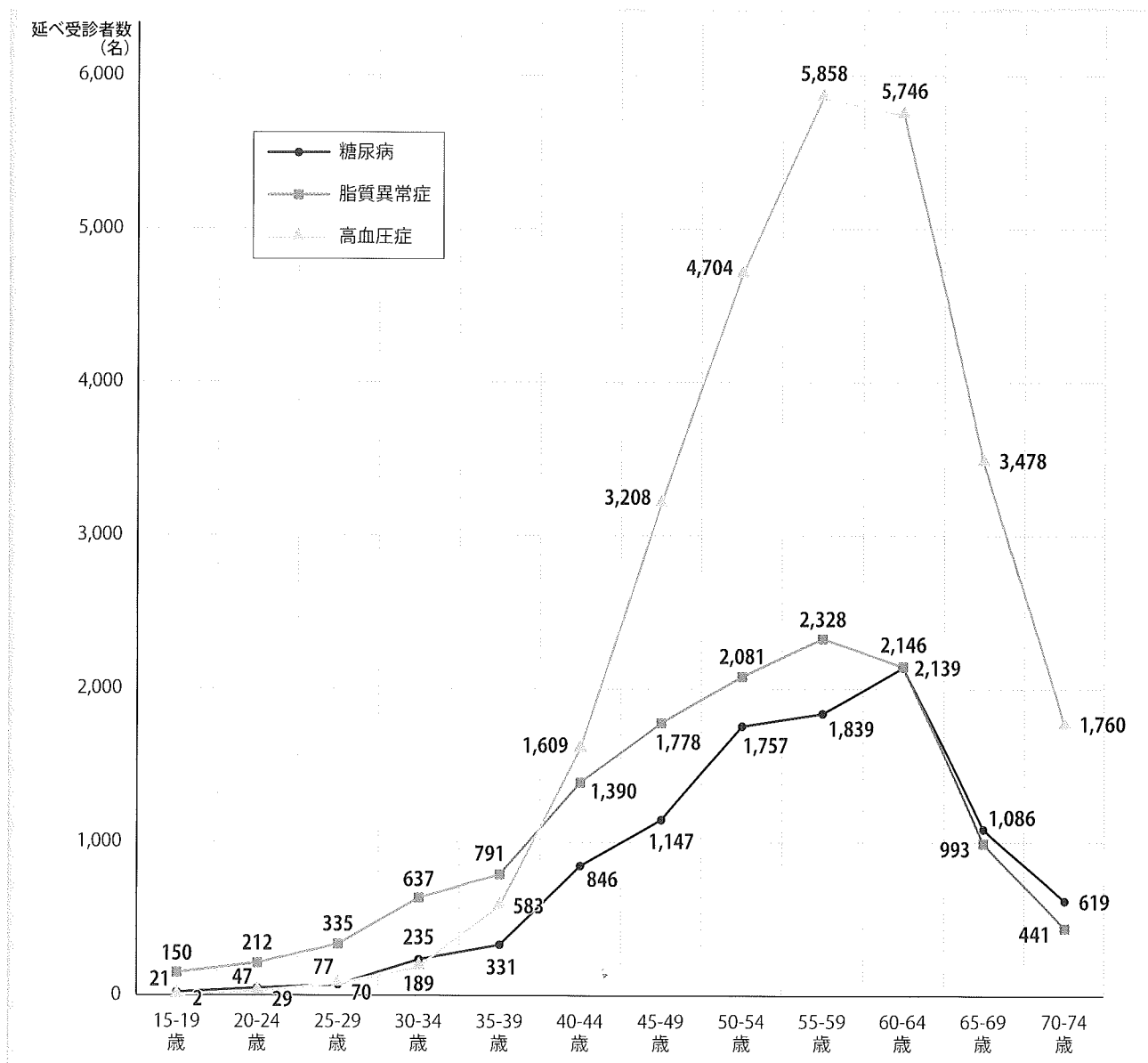


Pick
Up生活習慣病関連疾病で医療機関にかかった方を
ピックアップしました

若年層からの予防と適切な受診が大切

生活習慣病関連疾病の年齢階層化別受診者数(15~74歳)



※脂質異常症等には、痛風等の原因となる高尿酸血症が含まれます。

平成26年3月～平成27年2月までのレセプトデータから、生活習慣病関連疾病を年齢別に集計した結果、35-39歳の年齢層から受診者が増加傾向にあり、高血圧症においては40歳代前半と後半を比較すると、約2倍に増加しています。

これらの疾病は、生活習慣病等の健診で容易に発見することができますので、重症化予防のためにも健診を毎年受診して、ご本人、ご家族の健康保持増進に努めてまいりましょう。